

ワンドロップ小学校
食料支援ニュースレター

2020年7月15日

7月4日第5回食糧支援がワンドロップ小学校の校庭で実施されました。



晴れ渡った空の下、ワンドロップ小学校が緑の中にくっきりと建っています。校庭では、現地スタッフのタリクさんの指揮で食糧の入った袋が学年毎に並べられました。生徒たちは校舎の中でそれを見えています。

並べ終わると、生徒たちがその袋のそばに並びます。各自の袋を確認できたとき、ルニ校長がワンドロップのメッセージを読み上げました。もう、おなじみの食糧支援の様子です。

コロナ感染拡大の中、貧しい人々の暮らしはもうぎりぎりのところにきています。1回の食糧支援では、家族の人数にもよりますが、3日分の食糧しかありません。でも、また1週間から10日の間に次の支援があるとわかれば、少しがんばれるかなと思います。

学校で過ごした楽しい日々を忘れないように、学校はいつでも子どもたちを待っているのだと伝えています。そして、この学校は特別で、日本のサポーターたちがいつも子どもたちのことを気にかけているんだと伝えています。

みなさんのご支援のおかげで子どもたちに希望がもどっています。

OneDrop(Bangladesh Education Support Association)代表
大西 登志子

今回のワンドロップからのメッセージは以下のとおりです
ワンドロップメンバーのMDさんに翻訳してもらいました。

アッサラームアライクム

みなさん、元気ですごしていますか。
インターネットで毎日バングラデシュのコロナの様子をチェックしています。
なかなか、このやっかいな病気が治まりませんね。
みなさんと、前に約束しましたね。7月に会いましょうと。
ごめんなさい。飛行機が飛ばないから行けません。残念です。

日本では、みなさんへの食糧支援のために多くの方から募金が寄せられています。
離れていますが、わたしたちの応援の気持ちが伝わりますように。

上級生の人たちは、いつ学校がはじまっても大丈夫なように、今まで勉強したことを
復習して準備してくださいね。勉強の楽しさを忘れないでくださいね。

そして、くれぐれも、コロナウイルスに感染しないように注意してくだ
さい。

- ① 人ごみに行かない、手を洗う。マスクをする。
- ② 家の手伝いと勉強もがんばってくださいね。

いつもあなたたちのことを考えています。

OneDrop あなたたちの日本の友人より



後記

緊急食糧支援のお願いにたくさんの方々が応えてくださっています。ご送金いただいた方には心から感謝いたします。ありがとうございました。今回のように、ニュースレターの形で現地の様子を随時お伝えしようと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

今後の予定ですが、8月10日から22日まで、今年も「コミセンおの」にて写真展を開催します。

1月のスタディツアーの様子と、そのあとコロナ感染で休校となっている現在の食糧支援の様子をお知らせします。

ワンドロップのHP <http://onedropbangla.seesaa.net/>

ワンドロップのブログ <http://onedropbangla.seesaa.net/>